



学校が安心・安全な場所であるために

校長 野田 恵美

3学期が始まって間もない頃、1年生が運動場で自分たちがつくった凧をあげていました。寒い時期ですが、白い息を吐きながら、どの子も嬉しそうに走っています。この活動をすると、たいてい何人かの子が互いに凧糸が絡んでしまったり、凧がぶつかり合って壊れてしまったりします。でも、このときはエリアをわけ、走る方向を決めて、凧や友達同士がぶつからないように工夫していました。大勢が走り回りましたが、安全にたっぷりと凧あげを楽しんでいました。

ある日の3年生の道徳の授業では、「正直さ」について考えていました。「正直に言うのがよいとわかっているけど、実際はみんなに言うのはとても勇気がいる」「自分だったら隠したまま、言うことができないかもしれない」など、本音の部分を素直に話し合っていました。どのような意見を言っても「みんなに受け止めもらえる」という安心感がないと、本音を授業の中で発言することはできません。



2つの場面は、学校での日常の風景ですが、子供たちにとって、安心と安全が保障されているからこそ成り立っています。

日頃から思うのは、学校は子供にとっても大人にとっても安心・安全な場所でなくてはならない、ということです。安心・安全とは、けがをしない、物が壊れないという物理的なものだけではなく、精神的なものも含めて、心も体も守られている状態のことです。学校は大勢の中で活動する場所であり、人数が増えれば増えるほど、様々なトラブルや問題が発生します。まずは、トラブルや問題が起こらないよう預防したり、回避したりすることが大切です。加えて、何かが起きたときに、それを解決する手立てを考え、立て直す力も必要です。学校が安心・安全な場所であるためには、学校に関わる者みんなで力を合わせて取り組んでいくことが重要です。

さて、先週末に本校は、愛知県教育委員会から学校安全優良校として表彰を受けました。保護者の皆様からご協力をいただいた「親子で発見！通学路点検」やPTA校外安全部の自転車点検、2年生が1年生に安全な遊具の遊び方を教える活動、3年生の自転車教室や4年生の子供の人権教室、5年生の着衣泳や6年生の煙道体験、委員会の安全パトロールなど、数多くの学校と地域・家庭の取組が認められての受賞です。安全に関する取組を考え、実行した子供たち、学校を支えてくださる保護者や地域の皆様のお力添えあっての表彰です。心より感謝申し上げます。

しかしながら、まだまだこの「安心・安全」は万全とはいえず、解決していかなければならない課題が多くあります。職員一同、この受賞を励みにし、子供たちとともに、安心・安全な学校づくりを目指して、一層努めてまいりますので、引き続き、皆様のご協力をいただきますよう、お願ひいたします。

■ 教育講演会～子どものネットトラブル事例から学ぶ～【お知らせとお願い】

2月19日の学校公開の日の11時40分より本校体育館にて教育講演会を開きます。授業参観の後にそのままご参加いただけます。総務省のeネットキャラバンによる講演です。実際に寄せられた「友達同士のSNSトラブル」「何気なく投稿した画像や動画の問題」など具体的な相談事例をもとにお話しいただけます。当日、体育館を開放しておりますので、中でお待ちいただけます。事前申込をしていなくても参加可能ですので、この機会にぜひどうぞ。



■ 帰宅後の交通安全について

立春が近くなったとはいえ、まだまだ日の入りの時間が早く、県内では黄昏時の事故が多いようです。本校の校区も坂道やカーブが多く、交通事故に合いやすい地形です。自転車で出かけるときのヘルメット着用をはじめ、交差点での一旦停止等、ご家庭でも確認をしていただきますようお願いいたします。住宅地の道路で子供たちが大勢で話し込んでいたり、遊んでいたりする姿も見受けられます。上記でお伝えしたように、地域・学校での安全への取組が認められたところもあります。交通安全に関しては、学校の登下校時、帰宅後を問わず、常にルールとマナーを守ることができる城山っ子でいましょう。